

令和5年度 放課後等デイサービス評価表(事業者向け) 集計

実施日:令和 5年 11月  
公開日:令和5年12月25日

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	未回答	意見	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	8 100%	0%	0%	0%	利用者の特性に合うスペースを出来るだけ用意している。	広い空間を有効活用しながら、児童の障害特性に合った環境設定を行い、必要な児童には個別のスペースを提供している。
	②	職員の配置数は適切であるか	6 75%	1 13%	1 13%	0%	・職員の配置数は適正にしている、十分な支援があたれるようにしています。 ・短時間で勤務している職員を常勤化し、より安定した運営をしたい。	学校登校日は1日6~8名の職員・アルバイトを配置している。土曜及び学校休業日についてはそれ以上の職員・アルバイトを配置している。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	8 100%	0%	0%	0%	設備等に配慮して、安心安全に過ごせる空間づくりを行っている。	施設内は段差がない造りとなっており、車椅子を使用している児童にとっては使いやすい環境となっている。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	8 100%	0%	0%	0%	各、職員が日々の中での気付いたことを報告し、共有することでPDCAサイクルを活用した、改善へとつなげている。	職員が揃っている会議やミーティングにてPDCAサイクルを意識した業務改善を随時おこなっている。
	⑤	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	8 100%	0%	0%	0%	保護者向け等のアンケートを実施して、業務改善を行っている。	評価表や保護者の意見をもとに業務改善を随時実施している。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	8 100%	0%	0%	0%	ホームページでの公開。保護者会では、調査結果と対応について、報告している。	法人ホームページにて公開すると共に、結果報告として配布している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	8 100%	0%	0%	0%	今年度第三者評価を実施しました。	第三者による外部評価の実施。それを基にした業務改善を行っている。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8 100%	0%	0%	0%	研修の機会を定期的に設け、法人内研修、外部研修等に参加し職員間で共有している。	専門技術研修は計画に基づいて、1人につき年に1回以上は必ず受講している。また、法人内で虐待防止、接遇マナー、防災、ハラスメント研修の他、階層別研修を実施している。
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	8 100%	0%	0%	0%	アセスメントを実施し課題などを分析し、計画を立てている。アセスメントを基に職員全員で意見交換をしながら、作成している。	最低6か月に一度はモニタリングをおこない、目標の達成度や課題を共有して作成している。モニタリングのみならず日常的に電話などで状況を伺い、チームで対応を協議している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を把握を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6 75%	2 25%	0%	0%	標準化されたアセスメントツールを利用して子どもの状況を把握している。	法人内で共有しているアセスメントツールを使用し、個々の児童の特性や状況を判断して作成している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7 88%	1 13%	0%	0%	チームでプログラム内容を話し合い適切な内容かなどを確認し実施している。	日々のミーティングで出た案や課題を運営会議で全職員で共有して立案している。

適切な支援の提供	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	8				・今年度は個別プログラムに関して、集中的に見直した。 ・定期的にプログラムの見直しを行い活動内容を刷新している。	集団プログラムは、子どもの人数や顔ぶれ、また季節や担当者の個性を生かしながら取り組んでいる。また、どのように提供すると楽しく参加できるか、日々考え、工夫している。個別プログラムでは、日常生活に活かせる内容を中心に「苦手なことでも強みに、コツコツ頑張る力を伸ばす」取り組みをしている。
			100%	0%	0%	0%		
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	8				平日、休日、長期休暇に応じて課題や活動内容など細かく設定し、目標に向けて取り組んでいる。	日々のミーティングや会議等で、支援内容や活動についての課題を共有、検討して支援している。個別活動や集団活動を組み合わせ、「静」と「動」をバランスよく取り入れメリハリのある1日を設定し、日々心の充実を目指している。
			100%	0%	0%	0%		
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	8				個別活動と集団活動の重要性を認識しつつ、子どもたちの状況に応じた計画を作成し実施している。	個別活動はもちろん、集団活動の中で他者との協働による喜びを感じられるように計画を作成している。また、個別活動と集団活動を組み合わせ、両方の力がついていくように療育している。
			100%	0%	0%	0%		
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7	1			開始前には必ず打ち合わせを実施している。その中で役割分担などを行い、円滑に進められるようにしている。	毎サービスごとに打合せをしているが、利用時間の長さから十分に打合せができない場合があるため、業務日誌の活用やあらかじめ定めてある必要事項の確認を行い、必要な情報の共有に努めている。
			88%	13%	0%	0%		
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	7	1			・終了後は必ず打ち合わせを行っている。 その日の支援内容を振り返り改善点や継続して取り組む事を確認している。 ・ミーティングの時間を設けている。	毎サービスごとに打合せをし、子どもの様子や活動の振り返りを行っている。業務日誌を活用して情報を共有している。
		88%	13%	0%	0%			
⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8				・項目をいくつか目的ごとに設けて、それぞれに合った内容を記録している。それらを基にして検討や改善を行っている。 ・学校や連絡帳の情報も必要に応じて記録を活用し、支援に活用しています。	個別支援計画に沿った記録、正しい記録の取り方について徹底し、支援の検証・改善につなげている。	
		100%	0%	0%	0%			
⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	8				定期的にモニタリングを実施している。その際は今後の見通しを立てながら、計画の見直しを行っている。	最低6か月に一度はモニタリングをおこなっている。子どもの体調や環境などに変化があり必要な場合は、6か月を待たずに計画を変更することもある。	
		100%	0%	0%	0%			
⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	8				ガイドラインの基本活動を組み合わせながら適切な支援を実施している。	児童の障害特性に合わせて複数の活動を組み合わせ支援をおこなっている。	
		100%	0%	0%	0%			
関係	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7	1			子どもの状況をよく理解しているものが参画している。	児童発達支援管理責任者が事前に職員から情報収集をおこなった上で参加している。全職員が統一した支援をおこなうことで、利用児に安定した支援を提供している。
			88%	13%	0%	0%		
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	8				学校との情報共有を随時行っている。行事や送迎時の対応など連携しながら適切な方法を確認しながら行っている。	学校から情報を得る場合には、事前に保護者からの了解を得て必要事項の共有を積極的におこなっている。
			100%	0%	0%	0%		
㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	1	2	5		医療的ケアが必要な子どもは対象外だが、利用相談があった場合は相談支援事業所をはじめ他機関へ繋げる等の支援をしている。	現在、利用対象となっていない。相談があった際には、相談窓口を紹介する。	
		13%	25%	63%	0%			
㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	7	1			情報共有や相互理解を行っている。それに応じて継続した適切な支援を提供できるようにしている。	小学校入学と同時に利用の場合は事前に保護者からの了解を得た上で、保育園や幼稚園等での様子を見学したり、情報共有するよう努めている。	
		88%	13%	0%	0%			

②④	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	7	1			支援内容等の情報提供を行っている。必要な情報を提供することで、切れ間のない支援を実施できるようにしている。	移行先の事業所や相談支援事業所より求められた場合、必要な情報を保護者の了解を得てから提供している。
		88%	13%	0%	0%		
②⑤	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6	1		1	区の障害児支援の中核をなす区立の子ども療育室や通所事業所連絡会と連携して、研修の情報など定期的に送ってもらっている。	当該機関と定期的に情報共有をおこない、助言を受けている。
		75%	13%	0%	13%		
②⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	5	1	2		近くの公園に行った際、障害のない子どもたちと交流できています。	保護者からの希望を確認しながら、今後児童館等との交流に取り組みたい。
		63%	13%	25%	0%		
②⑦	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	6	2			自立支援議会には法人代表者が、区の未就学児を含めた通所事業所連絡会はクラブから必ず1人参加している。	自立支援議会は法人から代表者が相談支援・就労支援・くらしの部会に各々参加している。通所事業所連絡会はクラブから必ず参加、地域の中で求められている役割を担い、区の障害児支援が活性化するように参加している。
		75%	25%	0%	0%		
②⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7	1			保護者との連絡は密に行っている。子どもの状況に応じた課題を連絡帳や個別面談を通して行っている。	連絡帳での情報共有を基本に、必要に応じて電話や面談を実施して保護者と共通認識を持って児童の支援をおこなえるよう努めている。
		88%	13%	0%	0%		
②⑨	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	5	2	1		ペアレントトレーニングという名称では行っていない。通常の会話、面談の中で伝えたり報告を受けたりしている。	保護者が家庭での療育に自信を持てるよう必要な助言をおこなうとともに、保護者が気持ちを発することができるよう心掛けている。
		63%	25%	13%	0%		
③⑩	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8				丁寧にわかりやすく説明を行っている。	契約書・重要事項説明書に沿って説明をおこない、同意を得ている。
		100%	0%	0%	0%		
③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8				保護者からの相談については親身になって応じている。また、その状況に応じて必要な助言や支援も行うようにしている。	保護者から要請があった場合には、随時対応している。
		100%	0%	0%	0%		
③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	8				保護者の方に講師を依頼してワークショップを開催した。学校や年齢が違って各々悩み等が共有できるよう支援した。	保護者会は年に1回定期開催している。また今年度初めて保護者向けのワークショップを開催した。
		100%	0%	0%	0%		
③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8				苦情については、対応する体制を十分に整備している。迅速かつ適切な対応ができるように取り組んでいる。	法人内の苦情対応窓口、区の窓口、東京都の相談窓口を周知している。苦情については報告を速やかに言い、早急に子ども、保護者からの話を聞き、説明などを行うとともに、改善に向けた取り組みを迅速に行っている。
		100%	0%	0%	0%		
③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子供や保護者に対して発信しているか	8				活動や行事などの情報は定期的に発信している。その際は、連絡体制を整え分かりやすい情報発信を行っている。	機関紙「ぱすてる」を年4回発行の他、必要に応じてお知らせを発行している。
		100%	0%	0%	0%		
③⑮	個人情報に十分注意しているか	8				個人情報に関わる内容について十分に把握し取扱いに注意している。	書類関係は鍵付き書庫や金庫に収納している。会話の中では個人情報に触れる際は周囲に聞こえないように、配布する際は2重チェックするなど注意している。また、定期的に未然防止チェックリストに取り組んでいる。
		100%	0%	0%	0%		

③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8				それぞれに合った情報伝達を行っている。情報が明確に伝わるように工夫している。	分かりやすい言葉や、絵カードやジェスチャーなど、障害特性や発達段階に応じて使い分け、1日の予定も可視化して伝えられるようにしている。
		100%	0%	0%	0%		
③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	5	1	2		・地域の行事には、こちらから参加している。 ・近隣の施設に作成したリースを届けに伺っています。	町会の祭りへの参加や近隣の公園への外出など活動に組み入れているが、更に地域に開かれた運営に向けて検討していく。
		63%	13%	25%	0%		
③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	7	1			・去年より水害に対しての訓練を行っている。	緊急時対応、防犯、感染症対応マニュアル共に策定し、保護者に周知している。また、年に1回運営会議にてマニュアルの見直しをおこなっている。
		88%	13%	0%	0%		
③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	8				定期的に災害等の発生に備えた訓練を実施している。	避難訓練を年に2回、不審者訓練を年に1回実施している。また、消防の指導の下、同建物内の他事業所との避難訓練も行っている。
		100%	0%	0%	0%		
④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8				虐待防止のための研修や情報提供を随時行い、適切な対応を行っている。	法人内で虐待防止のための委員会があり、研修など法人全体で虐待防止に向けた取り組みをおこなっている。
		100%	0%	0%	0%		
④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	7			1	身体拘束は法人として禁止しているが、やむを得ず行う場合に備えて指針の整備、研修の実施等適正化に努めている。	法人として身体拘束の適正化に取り組んでいる。やむを得ず行う場合の手順などについても決めている。
		88%	0%	0%	13%		
④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	8				アレルギーについては医師の指示書に基づいて対応を行っている。	事前の聞き取りの際に、まずアレルギーの有無について確認し、アレルギーがある場合は主治医にアレルギー疾患生活管理指導表を作成、提出していただく。特別な対応が必要な場合は保護者からの指導を受けて、職員間で共有して対応できるようにしている。
		100%	0%	0%	0%		
④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7		1		日々の支援の中で行ったことを記録して改善するための話し合いなどを綿密に行っている。	事例記録用紙に記入し、随時見直している。また、業務日誌のインシデント報告欄に記入、情報を共有している。
		88%	0%	13%	0%		

非常時等の対応